

ひかりのこ

7月園便り

認定こども園
聖ミエル幼稚園
2022年6月23日

月主題：あらわして

6月18日(土)、モエレ沼公園で、親子遠足を行いました。お休みのお家もありましたが、多くのご家族がご参加くださいました。

集合場所は遊具もなく、芝の広場と、大きな山が一つ。でも親子で十分楽しめたのではないのでしょうか。

親子遠足では、お祈り、準備運動にミカエル体操、キンダーポルカ、そしてクラス対抗の障害物リレーを行いました。そのあと、ゴスペルサークル、絵本サークルが歌を歌ってくださったり、大型絵本を読んでくださったりしました。幼稚園と保護者が一体となってこの行事を進められたことを大変うれしく思っております。

遠足は午前で終了しましたが、その後お時間のあるお家は残って、お弁当を広げてお昼のひと時を過ごしました。子どもたちが仲良くしているご家庭同士と一緒にお昼をいただいたり、年長さんが年少さんを連れて、大きな山を登ったり下ったりして、和やかな交流の時間を過ごしました。

コロナ禍の2年間、予防のためとはいえ、このような「人との交流」も途絶させなければならなかったこと、園長として大変心苦しく思っています。子どもたち同士はこの2年間も、お友達と交わり、仲良く過ごしていましたが、バザー、父母の会の活動等で子どものために一肌脱ぎ、かつ子どもと共に楽しむ機会が本当に少なかったと思います。

幼稚園の工事も間もなく終わります。7月いっぱい旧園舎の改装のめどがつき、8月いっぱい園庭の整備も今年度分は終わる予定です。コロナの感染状況を見ながらにはなりますが、旧園舎や、新しい園庭で様々な保護者同士の交流が生まれてほしいと願っています。どうぞご協力いただいて、良いアイデアなどあればお話しください。

園長 渡部 良子

キリスト教保育

「思い煩うな」

教会の祈りの形の一つに、黙想があります。一人、あるいは何人かで、ただ黙っている時間を持ちます。沈黙の間に何も考えないことが理想ですが、これがまた大変で、不安なことや、どうでもいいような雑念がテレビのコマーシャルのように次から次へと浮かび上がっては消えて行きます。黙想で大事なことは、そういう雑念を取り払うのではなく、むしろあるがままに任せながら自分の呼吸に注意を向けることだと言われます。座禅と似ているかもしれませんが、そういう黙想を続けていると、考えて結論を出さなければならないことと、考えても仕方ないことが区別されるようになるものです。自分が、いかに心の整理整頓が出来ていないかに気づかされるのです。

イエス様は、「明日のことを思い煩うな。明日のことは明日みずからが思い煩う。その日の苦労はその日だけで十分である」と言われました。これを実践するのは難しくても、このような言葉があること自体ありがたいことです。いろいろな思い煩いがある中、今日、どうしても考える必要のあることだけに集中したいものです。幼稚園に来られた時、隣の教会で1分でも2分でも、ただ座って黙想をしてみたいはいかがでしょう。

チャプレン 司祭 下澤 昌

